



2024年7月29日

たてくろジオパーク だより

第71号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階

TEL: 076-431-2089

FAX: 076-482-3204

MAIL: info@tatekuro.jp HP: https://tatekuro.jp/



https://facebook.com/tatekuro

★ ジオパーク巡回展「地球時間の旅」が
黒部市吉田科学館で7月20日から始まりました！ ★

「地球時間の旅展」は、文化庁採択事業「ジオパークネットワークを活用した展示と地域を結ぶ博物館機能強化事業」として、昨年7月に準備を開始したもので、全国のジオパークからメンバーを募って展示内容を検討しました。立山黒部ジオパーク協会からは、国香研究教育部会長と黒部市吉田科学館の野寺学芸員が参加しました。

◇展示内容は、次の4つのChapterに別れています。

Chapter 1 ツナガル

地域と地球、“今”を形作る“過去”との関係
各地のジオパークのストーリー 紹介と
そのつながり（火山、侵食、資源などの
キーワードでカテゴライズ）

Chapter 2 カラフル

目の前にある景色、それは“地質”の多様性

Chapter 3 ツクル

“日本列島”を形作った地球の話
日本列島の形成史（通史展示）

Chapter 4 ツタエル

ジオパークは“未来”へ行動する
ジオパークの活動紹介

ジオパーク巡回展
地球時間の旅

見慣れた景色がちょっと面白くなる
ジオパークの旅に出かけよう！

46 geoparks in Japan

2024年 7月20日(土)～9月1日(日) 入場無料

主催：黒部市吉田科学館・立山黒部ジオパーク協会
共催：糸魚川ジオパーク協議会・フォッサマグナミュージアム 特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク
後援：日本地質学会・日本古生物学会 ※会場は黒部市吉田科学館です

大がかり
本会館は令和5年度「Innovate MUSEUM事業（文化庁）」の協賛を受け実施しています。

黒部市吉田科学館
KUROBE YOSHIDA SCIENCE MUSEUM

〒938-0005 富山県黒部市吉田 574-1
TEL 0765-57-0610 FAX 0765-57-0630
ホームページ https://kysm.or.jp/

開館時間 9:00～17:00
休館日 月曜日（祝日の場合は開館）
祝日の翌日、年末年始

●市内各バス「吉田科学館」バス停より一歩ずつ
●黒い山とやまの森 生体展示場より一歩15分
●黒部インター・黒部市立公民館より一歩15分

今年の3月に新潟県糸魚川市のフォッサマグナミュージアムで始まったこの巡回展は、黒部市吉田科学館と立山黒部ジオパーク協会の主催で、7月20日（土）～9月1日（日）という学校の夏休みを利用してちょうど行きやすい日程で開催することができました。しかも、入場無料です。是非、長い長い地球の時間を見て、触って、感じていただきたいと思います。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



入場無料！

第 11 回 [千寿ヶ原でジオパーク散歩]

〈変化に富んだ地形・地質と立山信仰を学ぶ〉

【日 時】8月24日(土) 10:00～12:00
(受付 9:45)

【集合場所】富山地方鉄道立山駅前

【見学場所】・立山駅前にて立山信仰と地形・地質
・藤橋にて地形・地質と立山信仰
・常願寺川にて地形・地質及び砂防と電力設備

【持ち物】雨具、飲み物、帽子等熱中症対策

【対象】どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
※往復約1時間、坂道を歩きます。

【申込期限】8月20日(火) 定員10名先着順

第 12 回 [ジオパーク散歩 in 呉羽山丘陵]

〈とやまを呉東・呉西に分ける呉羽山丘陵の不思議発見〉

【日 時】9月18日(水) 9:30～11:30 (受付 9:15)

【集合場所】富山市民俗民芸村東側駐車場

【見学場所】牛ヶ首用水・安養寺用水路一陶芸館露頭(安養坊砂泥岩互層)一老人福祉センター横の露頭(呉羽山礫層)一呉羽山展望台・有頼像一桜の広場展望台一長慶寺上部・五百羅漢一富山市民俗民芸村

【持ち物】歩きやすい靴、飲み物、雨具、帽子

【対象】どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

【申込期限】9月13日(金) 定員10名先着順

6・7月の活動より

7/11 初夏の百間滑ジオパーク散歩

7月11日(木)に今年度第9回ジオパーク散歩を開催しました。今回のジオパーク散歩の舞台は百間滑でした。テーマは「太古の岩と清流を楽しむハイキング」でした。「百間滑」という名前は、龍神の滝の下流百間(200m)に渡って、砂岩・れき岩の美しい岩肌の上を滑るように水が流れていることに由来している



そうです。集合場所の栗巣野スキー場駐車場を出発し、栗巣野スキー場のゲレンデにある巨大ブランコや龍神の湧水の話聞き、百間滑を目指しました。道中では、クロモジやサルナシ、ハナイカダなど、様々な植物が生育している様子を見ることができました。

当日はあいにくの空模様でしたが、百間滑の豊かな自然に囲まれながら雨の日の森林浴を楽しむことができました。



7/13 ジオパーク散歩 in 称名滝

7月13日(土)にジオパーク散歩 in 称名滝を開催しました。テーマは、「日本一の落差を誇る称名滝～誕生の秘密～」でした。今回のジオパーク散歩には親子3世代での参加もありました。集合場所の称名平休憩所で担当ガイドの自己紹介の後、称名滝に向かって歩き出しました。道中、滝見台までの距離と現在地の標高を示した地表のパネルが見えると、参加した男の子が元気よく駆け寄っていました。前日まで雨が続いたためか、

滝のミストがいつもより濃く感じました。参加されたお子様たちにとって、今回のジオパーク散歩が初めての称名滝とのことでしたが、とても楽しんでくれたようで良かったです。



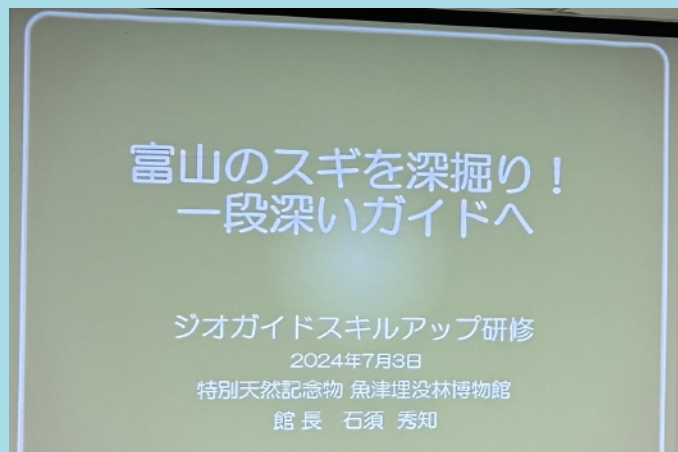
立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



7/3 第5回ジオガイドスキルアップ研修

7月3日（水）に魚津埋没林博物館において第5回スキルアップ研修を開催しました。「富山の杉を深掘り！一段深いガイドへ」という演題で魚津埋没林博物館の石須館長にご講演いただきました。洞杉の特徴的な形がどのようにして形成され、またそのような巨木が1,000年以上も生育することができたのかなど、洞杉の七不思議として1つ1つわかりやすく解説

いただきました。スギは切り株や倒木の上など、地表から突出した場所で生育しやすい性質を持っており、他の樹木が茂りにくく、落ち葉の少ない岩の上は日当たりの面では良い生育環境ということでした。それでも今のような巨木になるまでには、岩上の乏しい栄養価のもとで気の遠くなるような時間の生育が必要なことから、現存する洞杉は宝くじが当たる確率よりも小さい確率で生き残った個体と言われているそうです。

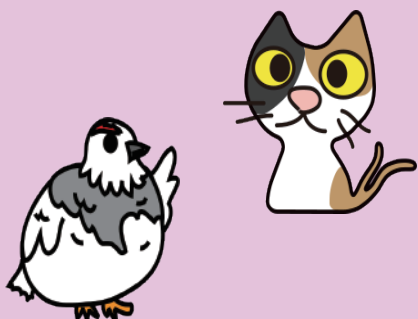
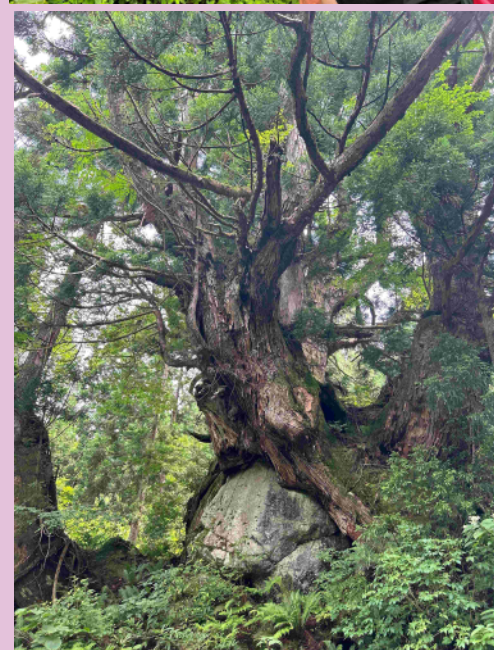


7/6 第6回ジオガイドスキルアップ研修（現地研修）

第6回ジオガイドスキルアップ研修（現地研修）を7月6日（土）に魚津埋没林博物館の石須館長を講師にお迎えして開催しました。片貝ノ守キャンプ場で集合した後、南又谷駐車場まで車で移動し、そこから洞杉までの約2.5 kmの道のりを歩きました。集合場所が手前の片貝の守キャンプ場で、南又谷駐車場へ移動して駐車した理由は、南又谷駐車場まで行くと携帯電話の電波が届かない恐れがあったためです。言い換えると、それよりも山奥にある洞杉や蛇石はそれだけ秘境だと言えるでしょう。

道中、石須館長から植物の見分け方や、モリアオガエルの産卵地、蛇石などのお話を聞きながら進みました。ゆるやかな上り坂を1時間30分ほど歩くと洞杉観察道と呼ばれる木道に到着しました。そこでは7月3日の講義で紹介された最大洞杉やクマ剥ぎの跡などを実際に目にすることができ、写真で見る以上の迫力を感じました。

当日は天候が心配されておりましたが、何とか雨の降る前に南又谷駐車場に戻ることができました。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



イベント等のお知らせ

富山市 科学博物館



特別展「たのしむ重力 ～落ちる ひっばる そして、曲げられる♪～」
身近なブランコの動きから遠くの宇宙からやってくる重力波まで、「重力」という力はあらゆるところで働き、私たちは知らないうちに利用しています。世界を支配している重力をさまざまな体験装置や展示で紹介します。

とき 2024年7月20日(土)～9月1日(日)
場所 2階特別展示室
対象 入館者
その他 大人：観覧料(530円)＋特別展観覧料(100円)、高校生以下：無料(小学生以下団体は引率者同伴)

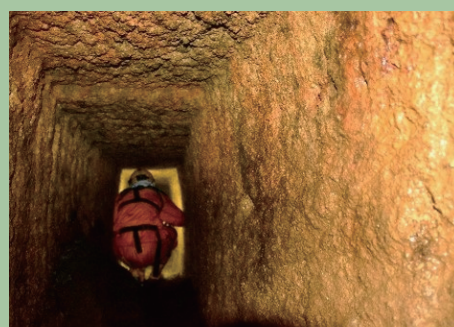
魚津水族館



ワンタッチさわリウム
2024年7月20日(土)～9月1日(日)
期間中の土曜・日曜・祝日
富山の身近な生物から海外の生物まで。指一本でいろんな生き物にワンタッチできます。

参加費：小学生以上 300円
場所：3階 うおすいファミリーム

魚津埋没林博物館



魚津市内の鉱山の坑道内

2024年夏の企画展
「キンキラリ魚津の金山展」
江戸初期まで金がとれた鉱山町としてにぎわった魚津の山奥。
令和5年、金が再び見つかった！
金をとるために掘られた穴の最新スキャン映像や金・銀鉱石、鉱石を掘り出していた人たちの様子、地に残る鉱山関連の伝承を紹介します！

期間 2024年7月19日(金)～10月31日(木)
場所 テーマ館

たてくろ 見どころ紹介コーナー

稚児塚 (上市川・白岩川エリア)

一 県内最大級の大型円墳 その由来を尋ねると所説紛々

稚児塚古墳は、白岩川によって作られた扇状地の微高地にあり、周辺には塚越古墳(35m)、清水堂古墳(30m)、若王子古墳(46m)などの円墳や竹内天神堂古墳(前方後方墳28m)等が集まっています。これらの古墳は4世紀前半～5世紀前半に相次いで築かれました。この地域では、直径30m以上の大型円墳が少なくとも4基集中し、古墳の大きさからみると、この頃に有力な勢力が台頭していたことが分かります。稚児塚古墳は、盛り土によって円形に築かれており、あたかもマンジュウを2個重ねたような形で、直径46m、高さは水田面より約7.4mあり、表面は石で覆われています。土の量は約1,500m³にもなることから、古墳の周りに幅約13mの溝を掘って出た土を利用したものと考えられています。

稚児塚は立山黒部ジオパークの文化サイトに登録されています。



<https://tatekuro.jp/enjoy/pointDetail.php?id=97>



サイトの保護・保全に関するお願い！
私たちの大切な宝物である郷土のジオ・自然・文化サイトを壊したり汚したりされませんよう保護・保全にご協力をお願いします。また、サイトが破損や汚染しているのを見かけられたら、当協会までお知らせください。
立山黒部ジオパーク協会
TEL076-431-2089 E-mail info@tatekuro.jp

<編集後記> 暑い夏がやってきました。お子様たちは夏休みなので、時間がたくさんあり、どこかへ連れて行ってほしいと願っていることでしょう。こんなときこそ、ジオ・自然・文化サイトに足を延ばしてはいかがですか。富山に住んでいながら行ったことのない素晴らしい景観がたくさんありますよ。また、天候が悪い日は、立山黒部ジオパークの拠点施設は8館あります。興味に合った拠点施設で見聞を広げるのもいいですね。

立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援してくださる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。ジオパークの活動に興味のある方は、立山黒部ジオパーク協会(076-431-2089)までお問い合わせください。

